

防災まちづくり方針図

市の広域的な幹線道路

方針7

- ・千本通や中立売通などは、市を広域的に通過し、災害時の救援活動や物資輸送等を支える重要な道路でもあるため、沿道の大規模な建物の倒壊や延焼が災害時の避難の障害とならないよう耐震化・防火対策を進めます。

避難を支える大きな道路につながる道

方針7

- ・土屋町通や仁和寺街道などは、身近な町内の生活を支える道として学区内を通過し、防災上重要な道路への避難経路となるため、沿道建物の耐震化・防火対策を進め、**4.0m未満の道については、建替え時に合わせて幅員を確保します。**

学区の防災上重要な道路

方針7

- ・一条通や浄福寺通などは、隣接する学区を含め、学区全体を通過し、災害時の住民の避難を支える重要な道路となるため、沿道建物の耐震化・防火対策を進めます。

延長の長い通り抜けの路地が多いエリア

方針6

- ・安全に避難できる「路地」をつくります。
▶袋路等始端部の耐震化・防火対策、古いブロック塀の改善など

方針7

- ・骨格となる道の安全性を高めます。
▶避難経路となる道の幅員の確保、道路状の整備など

方針8

- ・安全な避難場所をつくります。
▶空き家を除却した跡地、空き地等を活用した「防災ひろば」の整備など

⇒ P29. エリア別計画

幅の狭い袋路が集中するエリア

方針10

- ・路地の雰囲気将来につなぐ路地単位の計画づくりを進めます。
▶路地の雰囲気を残しながら建物の維持・更新がしやすい環境づくりなど、路地の特性にあった災害につよい路地単位の計画づくりなど

⇒ P31. エリア別計画

延長の短い袋路が集中するエリア

方針6

- ・安全に避難できる「路地」をつくります。
▶袋路始端部の耐震化・防火対策、2方向避難の確保、建替え等が難しい幅が狭い袋路に合った対策など

方針7

- ・骨格となる道の安全性を高めます。
▶避難経路となる道の幅員の確保、道路状の整備など

⇒ P30. エリア別計画

路地が少なく、幅の広い道路が通過するエリア

方針6

- ・安全に避難できる「路地」をつくります。
▶袋路始端部の耐震化・防火対策など

方針8

- ・安全な避難場所をつくります。
▶避難所の防災機能の維持・充実、一時的に避難できる身近な場所の確認など

⇒ P30. エリア別計画

方針8

- ・正親小学校の避難所としての防災機能の維持・充実を図るとともに、辰巳公園など、一時的に避難できる身近な場所を確認・共有します。

